



ご使用の前に、本書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『安全上のご注意』をお読みください。  
指定のない場合、「管理者」とは RC Gate の管理者を指します。

## 『セットアップガイド』のマークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

### ⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### ⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### ★ 重要

誤って操作をすると、データ消失などの原因になることがあります。必ず、お読みください。

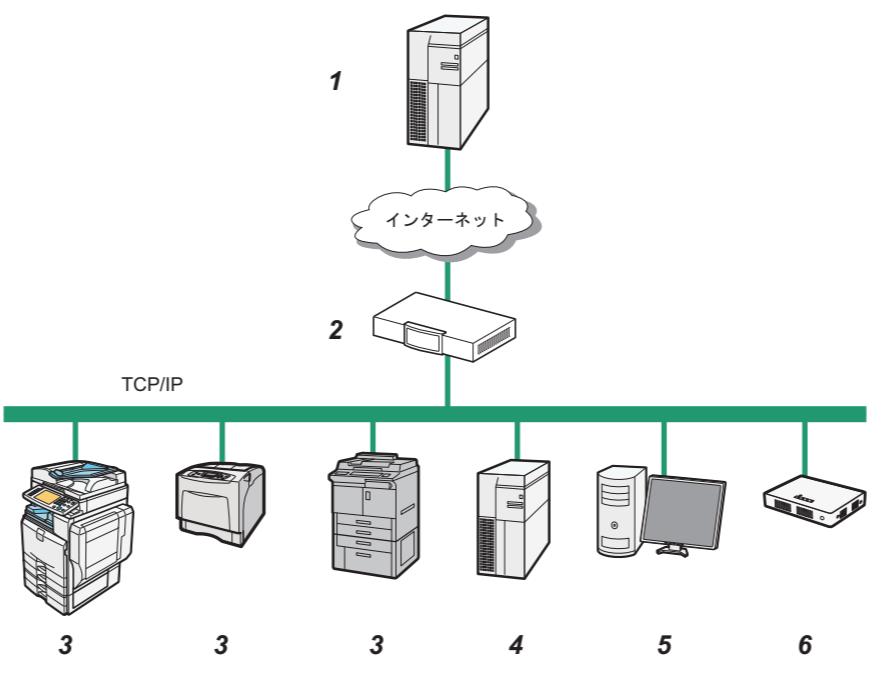
### ↓ 補足

操作するときに気付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

### [ ]

画面のキー や 項目の名称を示します。

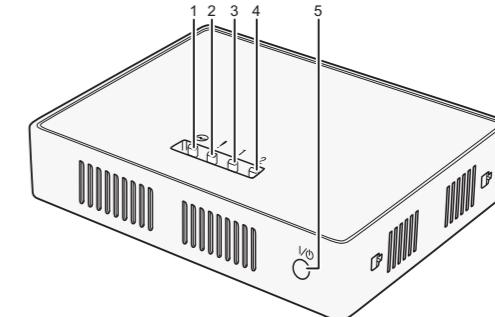
## システム概要



1. RS センターシステム  
各種サービスのための情報を集約するセンターです。
2. プロキシサーバーおよびファイアウォール  
プロキシサーバーやファイアウォールを使用できます。プロキシサーバーは、認証なしで対応しているときでも使用できますが、「ベーシック認証」、「ダイジェスト認証」、「Windows 統合認証」、「Kerberos 認証」で対応している環境でも使用できます。
3. 機器  
管理対象となる機器の種類は、デジタル複合機、プリンターです。本機には最大 100 台の機器を登録できます。
4. メールサーバー (SMTP サーバー)  
本機ではメールサーバーを設け、メール通知機能を使用できます。
5. 管理用のパソコン  
RC Gate モニターを使って、Web ブラウザー経由で本機を管理します。
6. 本機 (RC Gate)  
機器の各種情報を RS センターシステムへ通知したり、RS センターシステムから機器の更新用ソフトウェアをダウンロードしたりと、機器と RS センターシステムの仲介役を果たします。

## 各部の名称とはたらき

### 前面



1. 電源 LED (青)

2. アラート LED (赤)

3. ステータス 1 LED (黄)

4. ステータス 2 LED (黄)

本機の状態によって LED 表示パターンが異なります。詳細は、以下の表を参照してください。

5. 電源ボタン

本機の電源のオン / スタンバイを行います。

電源は電源プラグをコンセントに差し込むと電源ボタンを押さなくても入ります。

電源ボタンを 4 秒間以上長押しするとシステムがシャットダウンされてスタンバイ状態になります。

LED パターン	状態	LED パターン	状態
	電源 OFF		IEEE802.1X 認証サーバー失敗
	電源 ON		複数回の通信エラーにより RS センターシステムサービスを休止している
	アプリケーション起動中		各エラー状態から復帰中
	RS センターシステムへの登録が完了していない		システムファームウェアアップデート中
	RS センターシステムへの登録が完了し、通信が正常に行われている		規定回数再起動してもシステム異常が復旧できない
	通信エラーが発生している		システム再起動中
	ケーブルが接続されていない、またはケーブルが断線している		システム終了中
	IP アドレスの未割当		

※◀▶ : 1 秒間隔の点滅

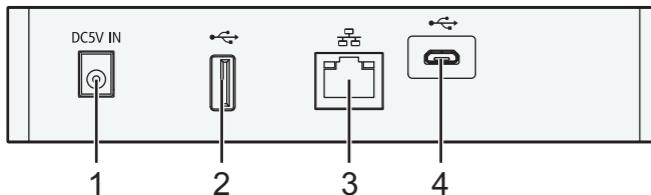
※▲▼ : 0.2 秒間隔の点滅

裏面へ





## 背面



## ★重要

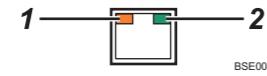
- 外装ネジ（2箇所）はカスタマーエンジニア専用のため操作しないでください。

- 電源コネクター  
電源コードを接続します。
- USB2.0 インターフェース  
使用できません。

- LAN ポート  
本機をご利用のネットワークに接続するためのネットワーク（Ethernet）ポートです。  
工場出荷時は空欄です。導入設定時にIPアドレスを設定してください。

- USB2.0 インターフェース（メンテナンスポート）  
micro-USB ケーブルを接続するためのポートです。カスタマーエンジニアがメンテナンスするときや、任命された管理者が本機の初期設定および登録するときに使用します。

## LAN ポートの LED



- LED（接続状態）  
本機がネットワークに接続しているときに点灯します（オレンジ色）。
- LED（送受信状態）  
データを送受信しているときに点灯します（緑色）。

## RC Gate モニターについて

RC Gate モニターは、本機および機器の登録や設定をしたり、それらの状態を閲覧したりするためのソフトウェアです。RC Gate モニターは本機に内蔵されています。パソコンの Web ブラウザを使ってアクセスできます。本書では、Windows 7 および Internet Explorer 11.0 の画面を用いて説明しています。他の Windows をご使用のときは、画面が異なりますが、操作は同じです。

## ❖ 対象 OS

以下の推奨 Web ブラウザをサポートする OS をご使用ください。

## ❖ 推奨 Web ブラウザー

- Microsoft Edge(Chromium)
- Firefox

## RC Gate モニターのユーザーについて

## ★重要

- パスワードは工場出荷時ままでご使用にならず、変更してお使いください。またパスワードの最小文字数は変更可能です（工場出荷時の設定は8文字）。新しいパスワードは128文字（ASCII文字）まで設定してください。
- パスワードとして使用できるのは、以下の ASCII 文字だけです。（（スペース）"（ダブル・クオーテーション・マーク）! % & ' / \* + - . : ; < = > ? [ \ ] ^ \_ { } ~ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 # a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z @ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z）
- 「エントリーの情報変更に失敗しました。」というエラーメッセージが表示されたときは、現在のパスワードが正しく入力されていることを確認し、パスワードが使用可能な文字であるか、また使用文字数の範囲内であるかどうかを確認し再設定してください。
- パスワードは半年以内の周期で変更してください。
- 辞書にあるような単語や同じ文字の繰り返しなど、容易に類推される単語はパスワードとして利用しないでください。
- パスワードを書き留めて、机など人目にふれるところに貼らないでください。
- 新パスワードは、次のログインから有効になります。
- パスワード変更後は忘れないようにしてください。万一忘れてしまったときは、サービス実施店に連絡し、機械再設定をすることになります。

## ❖ 管理者

本機の設定値の変更や、カスタマーエンジニアに対するアクセス許可ができます。管理者は対象機器のすべての管理権限（機器管理者、ユーザー管理者、文書管理者、ネットワーク管理者）を持っています。

工場出荷時のパスワードについては、『安全上のご注意』「工場出荷時のパスワード」を参照してください。

## 1 設置環境、電源を確認する

## △警告

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

## △注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

## ★重要

- 温度の変化により、機械内部に結露を生じることがあります。結露が生じたときは、1時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。
- 本機の電源は通常入れたままの状態でお使いください。
- 故障の原因になりますので、次のような場所に置かないでください。
  - 直射日光や強い光のある所
  - エアコンや加湿器などに近い所
  - その他のエレクトロニクス機器に近い所
  - 寒すぎる、暑すぎる、または温過ぎる所
  - 空調機の送風、冷風、温風・ふくしゃ熱が当たる所
- オフィスの運営に責任を持つ方は、本機を適切に運用してくれる方を、本機管理者として任命してください。管理者が適切な運用を行わないとき、セキュリティー上の被害が発生する恐れがあります。

本機管理者の方は、本書および『使用説明書』、『安全上のご注意』にしたがって、本機を適切に管理運用してください。本機が持ち出されたり壊されたりすることなどないように、安全な環境に本機を設置してください。

- オフィスの運営に責任を持つ方は、オフィスのネットワークを管理する管理者がいないときはネットワーク管理者を任命してください。

ネットワーク管理者の方はオフィスのネットワークを利用する方に、データ改ざん等内部ネットワーク（パソコンを含む）に関する不正行為を行ってはならないことを、徹底してください。また、ファイアウォールまたは同等の機器でインターネットと論理的に分離されたネットワークに、本機と機器を接続してください。さらに、許可なくオフィスのネットワークに機器を接続されないよう、ネットワークを管理してください。

- オフィスの運営に責任を持つ方は、オフィスの機器を管理する管理者がいないときは機器管理者を任命してください。

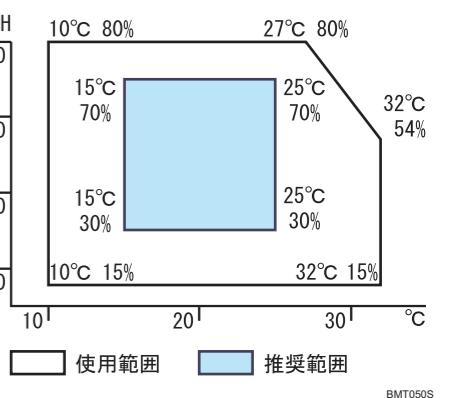
機器管理者の方は、RC Gate が管理する対象の機器が、改造等されていない正規製品であることを確認してください。

## 1 設置環境を確認します。

水平でがたつきがなく、振動のない場所を選んで設置してください。

縦置き・横置きとともに、本機の通風孔を塞がないように設置してください。

温度や湿度が以下の図で示す範囲におさまる場所に設置してください。



## 2 電源を確認します。

本機の電源は 100 V, 50/60 Hz, 3.6 A 以上の電源を使用してください。

## ↓補足

- 電圧は 10% 以上を変動させてはいけません。

2枚目へ

## 2 同梱品を確認する

★ 重要

- 本機の梱包において、開梱前に開封検知シールが破損していないこと（開梱された形跡がないこと）を確認してください。破損していたときは使用せずにサービス実施店にご連絡ください。

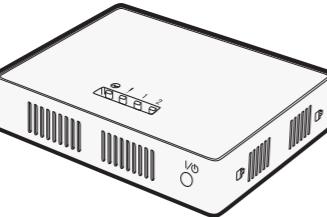
**1 梱包箱を開けて、本体・同梱品を取り出し、すべて揃っていることを確認します。不足品や不具合があったときは、サービス実施店にご連絡ください。**

- 本体 (\*)
- スタンド
- 安全上の注意 / セットアップガイド（本書）
- AC アダプター
- 電源コード
- ネットワークケーブル

\* 本製品の機種コードは最初の4桁がD3ARです。本体裏面の定格銘板で機種コードを確認してください。

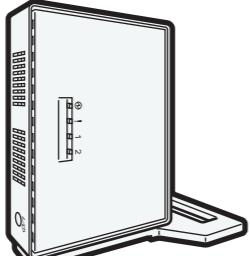
## 3 RC Gate を設置する

- 横向きに設置するとき  
LED が上になるように設置してください。



DJH102

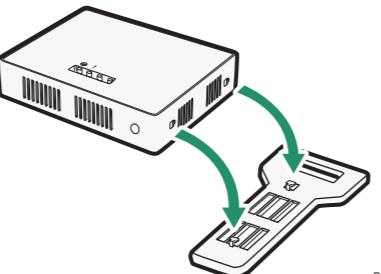
- 縦向きに設置するとき  
スタンドを用いて設置してください。



DJH105

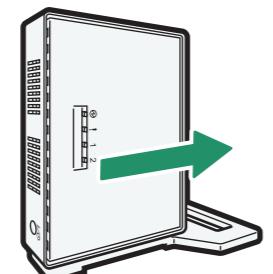
手順は以下の通りです。

**1 本機の穴にスタンドのツメを入れます。**



DJH103

**2 スタンドの穴のない方に向かって、止まるまで押します。**



DJH104

## 4 電源コードを接続する

⚠ 警告

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。
- 電源プラグの刃に金属が触れると火災や感電の原因になります。

⚠ 警告

- 同梱されている電源コードセット、ACアダプターは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット、ACアダプター以外は、本機には使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 警告

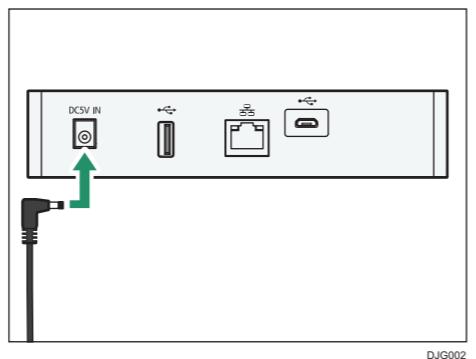
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠ 注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

**1 電源コードと AC アダプターを接続します。**

**2 AC アダプターの電源端子を、図のように本機の電源コネクターに差し込みます。**



DJG002

## 3 電源プラグをコンセントに差し込みます。

本機の電源が入ります。青色のランプが遅く点滅します。

↓ 補足

- 電源を切断するときは、本機の電源ボタンを4秒間以上長押しするとシステムがシャットダウンされてスタンバイの状態になります。

## 5 RC Gate の初期設定を行う

RC Gate の初期設定を行います。本機のIPアドレス（LANポート）を変更するときは、パソコンからUSB2.0ポート（メンテナンスポート）を経由して本機にアクセスします。本機のLANポートのIPアドレスは導入設定で設定できます。

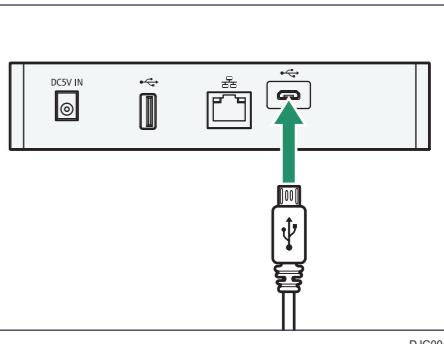
★ 重要

- お使いのOSによっては、Administratorグループの一員としてログインする必要があります。
- USB2.0ポートのIPアドレス192.168.10.153が利用できない環境のときは（お使いのサブネットが192.168.10.xxxで、192.168.10.153がすでに使われているなどのとき）は、サービス実施店にご相談ください。
- 工場出荷時のパスワードをそのままご使用にならないでください。また変更したパスワードを決して忘れないようしてください。
- セキュリティの観点から、5分の間に3回ログインに失敗すると、本機へのログインが禁止になります。1分後に再度ログインできます。
- 以下のときは、表示や操作に不具合が生じる可能性があります。
  - 使用するWebブラウザのバージョンが推奨ブラウザより低い。
  - 「JavaScript」が有効になっていない。
  - 「Cookieの使用許可」が有効になっていない。
  - キャッシュを表示する設定になっている。
  - 使用するWebブラウザの文字のサイズの設定によっては、ページレイアウトが崩れることがあります。文字のサイズは「中」以下に設定することをお勧めします。
- お使いのWebブラウザが、表示言語に対応していないときは、文字化けを起こす可能性があります。
- 工場出荷時のパスワードの詳細については、「RC Gate モニターのユーザーについて」を参照してください。

**1 micro-USB ケーブルのコネクターを USB2.0 ポートに接続し、もう一方のコネクターをパソコンに接続します。**

★ 重要

- micro-USB ケーブルは同梱されていません。micro-Bコネクターのケーブルを用意し、使用してください。



DJG004

**2 パソコンの Web ブラウザーを起動します。**

**3 Web ブラウザーの URL 欄に「http://192.168.10.153:8080/index.html」を入力します。**

**4 画面上に RC Gate のログイン画面が表示されます。**  
[ユーザー名] に admin と入力し、パスワードを入力してください。そして [言語] がお使いの地域の言語になっていることを確認し [ログイン] をクリックしてください。



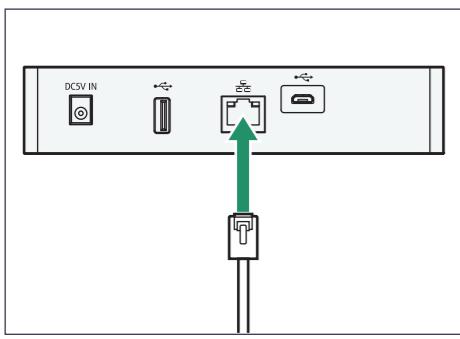
- ユーザー名  
ユーザー名は変更できません。
- パスワード  
工場出荷時のパスワードの詳細については、「RC Gate モニターのユーザーについて」を参照してください。

裏面へ





**5** コネクターを、本機の LAN ポートに接続します。



本機とネットワークは、同梱のネットワークケーブルで接続してください。同梱品をご利用にならないときは、10BASE-T、100BASE-TX または 1000BASE-T ネットワークケーブルを使って接続します。なお、100BASE-TX または 1000BASE-T ネットワークケーブルでネットワークに接続するときは、カテゴリー 5 の製品を使用してください。

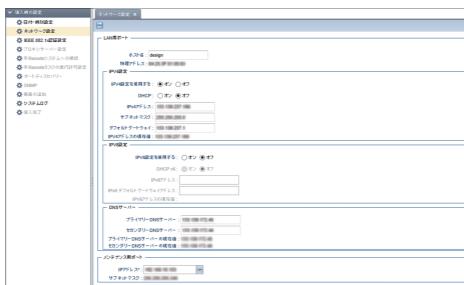
**6** ケーブルのもう一方のコネクターを、ハブ (Hub) などのネットワーク機器に接続します。

**7** 導入時の設定の画面が表示されたら、「日付・時刻設定」の「タイムゾーン」を使用している地域に変更します。続いて、日付と時刻が正しく設定されていることを確認し、 (保存) をクリックします。



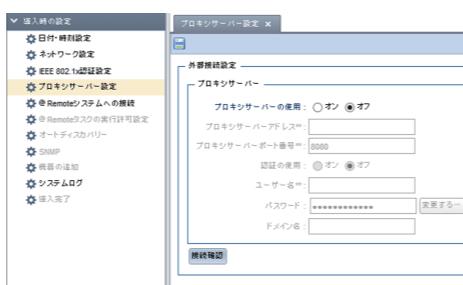
**8** 「ネットワーク設定」の「[LAN用ポート] グループ内の各項目を入力します。」

DHCP を使用するときは「[オン]」を選択します。DHCP を使用しないときは、「DNS サーバー」グループの入力が必要です。「プライマリ DNS サーバー」と「セカンダリ DNS サーバー」に IPv4 または IPv6 アドレスを入力してください (IPv4 は x.x.x.x 形式で 0 ~ 255 の範囲内の整数、IPv6 は xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx 形式で 16 進数を入力)。IPv6 はプレフィックスの設定も必要です。全設定が終わったら、 (保存) をクリックします。「メンテナンス用ポート」グループ内の各項目は変更しないでください。



**10** プロキシサーバーの設定を行います。

プロキシサーバーを使用するときは「[プロキシサーバーの使用]」の「[オン]」を選択します。全項目の設定が終わったら、 (保存) をクリックし、「[接続確認]」をクリックします。プロキシサーバーを使用して接続テストを実行します。



**11** 「@Remote システムへの接続」でお申し込み受付番号を入力し、「登録」をクリックすると、ダイアログが表示されるので [OK] をクリックしてください。 (保存) をクリックすると残りの項目が表示されます。



**9** IEEE802.1x 認証を使用するときは、「[IEEE802.1x 認証設定]」をクリックします。

「IEEE802.1x 認証設定」を「[使用する]」にし、必要な項目を設定します。必要に応じて他の設定を行ない、 (保存) をクリックします。



**12** 必要に応じて、「@Remote タスクの実行許可設定」[「[オートディスカバリー]」「[SNMP]」「[機器の追加]」「[システムログ]」] の設定を行います。

**13** 導入完了で、[OK] をクリックします。

[OK] をクリックすると通常の管理画面に移行します。

**14** 本機から USB ケーブルを外します。

本機が正常に起動すると、青色のランプが点灯します。

★ 重要

- USB ケーブルを挿入した状態では、本機の動作を保証できません。
- 初期設定完了後は、必ず USB ケーブルを外してご利用ください。

↓ 補足

- 次回ログインするときは RC Gate 画面を立ち上げ、Web ブラウザーの URL 欄に「[http://\[LAN ポートの IP アドレス\]:8080/index.html](http://[LAN ポートの IP アドレス]:8080/index.html)」を入力します。

詳細情報については、『使用説明書』を参照してください。

本機画面上の①をクリックすることで、リコホームページにアクセスでき、「使用説明書」をダウンロードできます。

## お問い合わせ先

製品についてのお問い合わせは、サービス実施店にご連絡ください。

転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。

株式会社リコー

東京都大田区中馬込 1-3-6 ☎ 143-8555

<http://www.ricoh.co.jp/>

© 2015, 2017, 2022 Ricoh Co., Ltd.

2022年6月 JA (JP) D3AR-8520B